

学期	月	指導計画（学習内容など）	評価計画（観点、規準、方法など）
I	4	1章 式の計算【15】 1－式の計算	1章 式の計算 〈知識〉 整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の 計算方法について理解し、計算することができる。
	5	2－文字式の利用 (学習確認テスト)	〈思考〉 文字を使った式を用いて、具体的な場面で表現できる。 〈態度〉 文字式の必要性和意味を考えようとする。
	6	2章 連立方程式【14】 1－連立方程式とその解き方 2－連立方程式の利用	2章 連立方程式 〈知識〉 連立2元1次方程式の計算方法について理解し、 計算することができる。
	7	3章 1次関数【18】 1－1次関数 (期末考査) 2－1次関数の性質と調べ方	〈思考〉 連立2元1次方程式を用いて、 具体的な場面で表現できる。 〈態度〉 連立2元1次方程式の必要性和意味を考えようとする。
II	9	3－2元1次方程式と 1次関数 4－1次関数の利用	3章 1次関数 〈知識〉 1次関数について理解し、 式や表、グラフに表現することができる。
	10	4章 平行と合同【16】 1－説明のしくみ (中間考査) 2－平行線と角	〈思考〉 1次関数として捉えられる2つの数量について、 式や表、グラフを相互に関連付け考察できる。 〈態度〉 1次関数の必要性和意味を考えようとする。
	11	3－合同な図形 (期末考査)	4章 平行と合同 〈知識〉 平行線や角の性質、合同な図形などについて理解すると ともに、平面図形の角の大きさを求めることができる。
	12	5章 三角形と四角形【22】 1－三角形	〈思考〉 平面図形の性質を見だし、平行線や角の性質を用いて、 説明することができる。 〈態度〉 証明の方法について考えようとする。
III	1	2－平行四辺形	5章 三角形と四角形 〈知識〉 証明の必要性和意味を理解している。 〈思考〉 三角形の合同条件などをもとにし、 三角形や平行四辺形の性質を論理的に考察できる。 〈態度〉 証明の必要性和意味を考えようとする。
	2	6章 確率【10】 1－確率 2－確率による説明 (学年末考査)	6章 確率 〈知識〉 確率の必要性和意味を理解している。 確率を求めることができる。 〈思考〉 確率を用いて、不確定な事象を捉え考察し表現できる。 〈態度〉 確率の必要性和意味を考えようとする。
		7章 データの比較【5】 1－四分位範囲と箱ひげ図	7章 データの比較 〈知識〉 四分位範囲や箱ひげ図について理解することができる。 データを整理し、箱ひげ図で表すことができる。 〈思考〉 データの傾向を読み取り、考察し判断することができる。 〈態度〉 データを整理することの必要性について考えようとする。
	3	1年間のまとめ【5】	知識・技能 → 知識 思考・判断・表現 → 思考 主体的に学習に取り組む態度 → 態度

① 授業態度（授業中の取り組み方・忘れ物の有無なども含む）

② 課題・提出物・宿題など

③ 定期考査・学習確認テスト・小テスト など

から評価します。